



県内経済の動き

概況

〔11月～1月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（11月）は前月比・前年同月比共に低下。輸出額（12月 細島港）は13カ月連続で前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は12カ月連続で前年を下回ったが、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は3カ月連続で増加した。新設住宅着工戸数（12月）は前年比3カ月連続で増加。公共工事（12月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに増加し、有効求人倍率（12月：1.28倍）は、3カ月連続で横ばい。1月の企業倒産件数は51カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、生産に弱い動きはあるものの、個人消費の一部に明るい動きがみられるなど、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。（厚地）